



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年7月29日

上場会社名 株式会社イーグランド
コード番号 3294 URL <https://e-grand.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
四半期報告書提出予定日 2022年8月3日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3518-9779

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	7,453	9.4	1,069	32.6	1,023	33.8	709	36.9
2022年3月期第1四半期	6,810	79.3	806	509.1	765	724.1	517	684.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	115.06	113.56
2022年3月期第1四半期	82.05	81.01

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	24,863	9,561	38.3
2022年3月期	24,435	9,226	37.6

(参考)自己資本 2023年3月期第1四半期 9,523百万円 2022年3月期 9,188百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		34.00		37.00	71.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		39.00		40.00	79.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,690	0.4	1,390	9.0	1,280	10.7	880	11.1	141.48
通期	26,860	15.0	2,610	1.6	2,380	1.4	1,640	1.2	263.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	6,379,100 株	2022年3月期	6,379,100 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	262,569 株	2022年3月期	159,069 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	6,163,346 株	2022年3月期1Q	6,312,300 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因で大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による各種制限は緩和されてきており、社会経済活動の持ち直しがみられました。しかしながら、不安定な世界情勢や原材料の高騰、流通の滞り、円安の進行、金利上昇懸念等が重なり、注視が必要な状況が続いております。

当社が属する中古住宅流通市場におきましては、コロナ禍における生活スタイルの変化を背景とした住宅需要の高まりには落ち着きが見られ、公益財団法人東日本不動産流通機構（東日本レインズ）によると首都圏中古マンションの6月度成約件数は3,003件となり、6ヶ月連続で前年同月を下回りました。その一方で価格面におきましては、6月度成約㎡単価は前年同月比12.8%の上昇となり26ヶ月連続、成約価格は前年同月比9.2%の上昇となり25ヶ月連続で前年同月を上回りました。また、市場に流通する在庫件数は、コロナ禍以前の水準には戻っていないものの徐々に回復してきております。

このような市場環境の下、当社の仕入活動につきましては、当第1四半期累計期間における居住用物件の仕入件数が254件から237件（前年同四半期比6.7%減）となりました。

販売活動につきましては、当第1四半期累計期間における居住用物件の販売件数は前年同四半期累計期間の272件から223件（前年同四半期比18.0%減）となり、平均販売価格は23,316千円（前年同四半期比7.3%増）となりました。また、居住用物件のほか収益用物件として一棟マンション3棟等の販売がありました。利益面につきましては、利益率の高い収益用一棟マンションの販売が寄与し、売上総利益率は前事業年度の20.9%を上回る22.4%となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は7,453百万円（前年同四半期比9.4%増）、営業利益は1,069百万円（同32.6%増）、経常利益は1,023百万円（同33.8%増）、四半期純利益は709百万円（同36.9%増）となりました。

事業別の状況は次のとおりであります。

<中古住宅再生事業>

中古住宅再生事業におきましては、物件販売による売上は、居住用物件が5,199百万円、収益用物件が2,119百万円、計7,318百万円となりました。また、収益用物件の保有期間中の賃貸収入は53百万円となりました。その結果、当第1四半期累計期間における中古住宅再生事業の売上高は7,390百万円（前年同四半期比9.4%増）となりました。

<その他不動産事業>

その他不動産事業におきましては、賃貸用不動産の賃貸収入等によって、当第1四半期累計期間における売上高は62百万円（前年同四半期比10.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における流動資産は、21,262百万円となり、前事業年度末の21,653百万円から391百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が144百万円、販売用不動産が185百万円増加した一方で、仕掛販売用不動産が727百万円減少したことによりです。

当第1四半期会計期間末における固定資産は、3,600百万円となり、前事業年度末の2,781百万円から819百万円の増加となりました。これは主に、有形固定資産が832百万円増加したことによりです。

当第1四半期会計期間末における流動負債は、8,259百万円となり、前事業年度末の8,847百万円から587百万円の減少となりました。これは主に、短期借入金が157百万円、未払法人税等が294百万円減少したことによりです。

当第1四半期会計期間末における固定負債は、7,042百万円となり、前事業年度末の6,361百万円から681百万円の増加となりました。これは主に、長期借入金が689百万円増加したことによりです。

当第1四半期会計期間末における純資産は、9,561百万円となり、前事業年度末の9,226百万円から334百万円の増加となりました。これは、利益剰余金が479百万円増加したことによりです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度（2023年3月期）の通期業績予想につきましては、2022年5月10日公表の「2022年3月期 決算短信」のとおりであります。事業活動に大きな影響が出る事象が発生した場合には、速やかに業績見通しの修正開示を行います。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,492,684	5,636,695
販売用不動産	9,551,804	9,737,436
仕掛販売用不動産	5,864,629	5,136,654
貯蔵品	1,173	1,880
その他	744,023	750,591
貸倒引当金	△486	△494
流動資産合計	21,653,829	21,262,762
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	2,407,135	3,239,425
有形固定資産合計	2,407,135	3,239,425
無形固定資産	1,335	1,124
投資その他の資産		
その他	373,482	360,534
貸倒引当金	△382	△383
投資その他の資産合計	373,099	360,151
固定資産合計	2,781,570	3,600,701
資産合計	24,435,400	24,863,464
負債の部		
流動負債		
買掛金	452,585	509,988
短期借入金	6,426,058	6,268,736
1年内返済予定の長期借入金	737,777	750,519
未払法人税等	597,378	302,543
賞与引当金	-	45,869
完成工事補償引当金	12,029	12,362
その他	621,687	369,803
流動負債合計	8,847,515	8,259,822
固定負債		
長期借入金	6,234,072	6,923,294
役員退職慰労引当金	57,749	57,749
その他	69,256	61,410
固定負債合計	6,361,077	7,042,453
負債合計	15,208,593	15,302,275

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	836,528	836,528
資本剰余金	832,990	832,990
利益剰余金	7,733,470	8,212,478
自己株式	△213,995	△358,621
株主資本合計	9,188,994	9,523,376
新株予約権	37,812	37,812
純資産合計	9,226,807	9,561,188
負債純資産合計	24,435,400	24,863,464

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	6,810,115	7,453,630
売上原価	5,407,077	5,785,475
売上総利益	1,403,038	1,668,155
販売費及び一般管理費	596,924	598,979
営業利益	806,113	1,069,175
営業外収益		
受取利息	9	205
受取配当金	751	1,151
契約収入	500	1,000
助成金収入	1,315	400
その他	137	834
営業外収益合計	2,713	3,590
営業外費用		
支払利息	33,309	43,983
支払手数料	9,967	4,053
その他	256	800
営業外費用合計	43,533	48,837
経常利益	765,293	1,023,928
税引前四半期純利益	765,293	1,023,928
法人税、住民税及び事業税	228,374	286,071
法人税等調整額	18,981	28,709
法人税等合計	247,355	314,780
四半期純利益	517,938	709,148

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

当社は不動産事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

当社は不動産事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。